

平成28年度人吉高校五木分校体験入学

7月29日（金）の午前9時から、平成28年度体験入学を開催しました。本年度は、中学生15人、引率者16人、計31人の参加がありました（昨年度は19人）。今年も生徒会を中心に、協力して進めることが出来ました。2年生の嶽本君と田上君の司会進行の下、生徒会長の2年森下聖太君が、分校の簡単な紹介を含めて歓迎のあいさつを行い、分校の特徴や1年間の行事を紹介する映像を見てもらいました。その後、バドミントン部の活動を含めた施設見学を行い、後半は分校の特色でもある学校設定科目「ステップアップ」の授業を体験してもらいました。授業体験では、在校生のサポートを受けながら、国語・数学・英語の基本的な内容に取り組んでももらいました。また、並行して保護者や引率の先生方との懇談会も実施されました。その中で、卒業生の保護者を代表して元五木秀麗会会長の岩本さんから、五木分校にやって良かったこと等のお話があり、参考にしていただけたと思います。最後に1年生の森下龍聖君と2年生の井上君が、分校に入学しての感想を発表しました。他の高校にはない五木分校の良さを伝えることが出来たのではないかと思います。閉会後は、一学期に分校農園で育てた夏野菜等をお土産に持ち帰っていただきました。

事後のアンケートを見ると、中学生からは生徒会を中心とした在校生の対応や発表が印象に残ったようでした。また、引率の保護者や中学校の先生方からも、在校生が生き生きと活動している様子や堂々とした発表を見て感銘を受けたという感想も寄せられました。



熊本県立人吉高等学校
五木分校

第182号
平成28年8月
編集発行
熊本県立人吉高等学校
五木分校

熱戦！1学期クラスマッチ

7月15日（金）生徒会主催のクラスマッチを実施しました。今回の種目は『ビーチボールバレー』でした。1チーム3人で、全員が必ずボールに触らなければならないというルールで行いました。ボールコントロールが巧みな生徒やチャンスの場面で輝くファインプレーを見せる等、生徒たちも盛り上がり、熱い試合が繰り広げられました。また、最後には優勝した生徒チーム対先生チームのエキシビジョンゲームを行い、僅差で生徒チームの勝利でした。クラスの仲間だけでなく全校生徒・職員との親睦を深めることができました。



自然の恵みに感謝！収穫祭

終業式を間近に控えた7月14日（木）、「収穫祭」を行いました。これは、一学期のTSプラン（総合的な学習の時間）を活用して育てた作物を、班毎に食材を活かすアイデアを発案し、「低廉な費用で、工夫して美味しいものを創る」ことを目指します。学校の畑で穫れた茄子・胡瓜・トマトのほか、九条ネギや青じそを素材に野菜サラダや麻婆ナス、各種天ぷらが完成し、絶妙な出汁が効いた名物の「うどん」とともに美味しく頂きました。



※ スイカについては、今年はサルスの略奪被害を受けずに済み、夏休み登校日（8/5）に除草ボランティアの作業後、全員で存分に堪能することができました。残ったサツマイモも無事に収穫できるよう願っています。



平成28年度 6・23 生徒会役員改選

6月23日（木）に生徒会立候補者の立会演説と役員改選選挙を行いました。会長、副会長に1人ずつ立候補し、どの立候補者も五木分校をよりよくしたいという思いを熱く演説しました。信任投票により2人は見事に当選を果たし、7月1日（金）には新生徒会執行部の交代式・任命式が行われました。

新生徒会のみなさん、よろしくおねがいします。

生徒会長	森下 聖太 (2年)
生徒会副会長	森下 龍聖 (1年)
体育委員長	嶽本 龍之介 (2年)
文化図書委員長	井上 雄大 (2年)
保健美化委員長	田上 涼 (2年)
生活交通委員長	・ 栄里奈 (2年)

旧生徒会のみなさん、ありがとうございました。

生徒会長 兼 生活交通委員長	土屋 恵太 (3年)
生徒会副会長	森下 聖太 (2年)
体育委員長	足立 好 (3年)
文化図書委員長	下原 篤希 (3年)
保健美化委員長	椎葉 真里奈 (3年)
生活交通委員長代理	・ 栄里奈 (2年)



2年間お世話になったALTのTyrica Foster先生が、1学期で終わりとなりました。
いつも明るくみんなをハッピーにしてくれた先生！どうもありがとうございました。
以下は、テリカ先生から最後のお別れのメッセージです。



On July 15, 2016 I taught my last lesson at Itsuki Bunko. It was also my last time coming to Itsuki. I have truly enjoyed coming to Itsuki twice a month for the past two years. I will miss Itsuki. It is so peaceful and the scenery is amazing.

During my stay, I have been able to meet and talk to some of the people in the village. Thank you for welcoming me and always being nice.

To the students, I hope you all continue to work hard and believe in your dreams. I will return back to Georgia next month to work and study hard to become a doctor. I hope to come back to Japan and visit Itsuki again one day. Thank you for having me.

2016年7月15日、五木分校での最後の授業でした。それは、私が五木に来る最後の日でもありました。この2年間、月に2回やって来るのが本当に楽しみでした。五木がなつかしいです。とても穏やかで、景色も素晴らしい所です。

この間には、村の人たちとも出会い、話をすることができました。私を受け入れて、いつも親切にして下さってありがとうございました。生徒達へ。みんな、一生懸命に勉強を続けて、自分の夢を信じて下さい。私は、来月（8月）にはジョージアに帰り、一生懸命に働いて勉強し、医者になります。いつかまた日本に来て、五木を訪れたいと思います。どうも、お世話になりました。



熊本地震復興支援ボランティアに参加してきました

6月18日（土）に、熊本県教育委員会主催による「復興支援ボランティア」に2年生の田上涼君が参加しました。当日は、比較的被害の少なかった県北、県南地域から集まった各県立学校の代表者が県庁に集合し、開会式が行われました。その後、バスで益城町の被災状況を見学しながら、目的地の西原村に向かいました。到着後は、全員で協力して倒れたしいたけ栽培用の原木（ほだ木）を復元する作業を行いました。活動そのものは1時間半程度で終わりましたが、作業を通して被災者の心の痛みや苦しみを共有したり、人の役に立つことの喜びを実感したりすることができたと思います。また、そこで長年ボランティアに携わっている方の話の中にもあった「高校生がボランティアに来るだけで農家の方々を勇気づける。復興支援は、自分のペースで楽しみながら長期的に行っていくことが重要である。」ということを実感することも出来ました。震災から4ヶ月経ちますが、何よりも、ボランティアをしたいという気持ちを行動に移すことが大切だと感じました。

以下は、参加した田上君の感想です。



私がこのボランティアに参加しようと思ったのは、地震の被害状況を自分の目で確かめたいと思ったことと、被災者の力に少しでもなりたかったからです。

まず、県庁での開会式の後に、バスの中から益城町の被災状況を見て、私はとても衝撃を受けました。被害は自分の予想をはるかに超えており、全半壊した家々やブルーシートが張られた家屋などを見ていると、とても胸が痛みました。

次に西原村で倒れた椎茸のホダ木を復元する作業では、たくさんの木が倒れている状況から、地震の強さが分かりました。短い時間でしたが、現地でボランティアを行われている方の話を聞いたり、普段交流することのできない他校生と一緒に作業したりしたことは、私にとって貴重な体験となりました。

今回、このようなボランティアに参加して学ぶことがとても多かった中で、また機会があったら是非参加したいと思います。

2年 田上 涼